

# むつ圏域

## 大規模氾濫時の減災対策協議会

### 取組状況



# むつ市 平成30年度の主な実施内容及び今後の取組予定

## 【対象河川：田名部川、小川、大畑川、脇野沢川等34河川】

### 【平成30年度の主な実施内容】

- 平成30年むつ市総合防災訓練における水防訓練の実施  
・平成30年9月27日、むつ市脇野沢地区にて、消防団(水防団)及び地域住民が参加する水防訓練、避難訓練を実施。
- 「田名部川」、「小川」、「脇野沢川」の洪水タイムライン策定  
・平成30年11月19日、上記3河川の洪水タイムライン策定完了。
- 防災知識の普及啓発  
・住民避難に関する出前講座を8回実施。
- 自主防災組織の結成促進  
・平成30年6月22日、自主防災組織の積極的な訓練を支援する「むつ市自主防災組織訓練備蓄品給付事業」を設立。  
・平成30年11月21日、自主防災体験研修会を県と共催し、自主防災組織の役割と活動を伝えるとともに、未結成町内会に対し広報活動を実施。
- 「避難準備・高齢者等避難開始」に伴う避難所開設  
・平成30年8月16日、土砂災害警戒情報の発表を受け、市内6箇所避難所を開設、最大98人が避難実施。  
・平成30年9月3日、台風21号の接近を受け、市内8箇所に避難所を開設、最大31人が避難実施。

### 【令和元年度の主な取組予定】

- ハザードマップの作成  
・令和元年度中に「土砂災害」に関するハザードマップを作成し、全戸配布予定。  
・「大畑川」及び「脇野沢川」の最大想定規模の浸水想定区域が公表された後、速やかにハザードマップの配布に至れるよう、基礎部分の作成を実施予定。
- 
- 
- 「大畑川」の洪水タイムライン策定  
・年度内に上記河川について洪水タイムラインを策定予定。

- 情報伝達手段の整備  
・情報伝達手段整備の基本構想作成に向けた検討実施予定。
- 自主防災組織の結成促進  
・自主防災体験研修会を県と共催し、自主防災組織の役割と活動を伝えるとともに、未結成町内会に対し広報活動を実施予定。

# 大間町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：奥戸川、小川代川、材木川】

## 【平成30年度の主な実施内容】

### ○防災行政用無線（デジタル）の運用開始



## 【令和元年度の主な実施内容】

### ○水防団の継続的な募集（随時）

- ・ 消防団と兼任となっているので、継続的に随時募集を行う。

### ○水防資器材の配備

- ・ 土のう等の水防資器材の拡充を図る。

### ○水害タイムラインの策定

- ・ 水害対策タイムラインを策定し、避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認を行う。

### ○奥戸川改修工事

- ・ 県事業で奥戸川の河川改修を実施（長期計画）

### ○新庁舎の供用開始（平成30年9月25日開庁）



### ○水防団の継続的な募集（随時）

### ○水防資器材の配備

### ○危機管理型水位計の設置（県事業）

- ・ 小川代川、材木川の2箇所を設置。

# 東通村 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【対象河川：田名部川、青平川、野牛川、老部川等8河川】

### 【平成30年度の主な実施内容】

#### ○タイムラインの作成

田名部川(鹿橋水位観測所)にかかるタイムラインの作成を県、事業者と合同で行った。

#### ○危機管理型水位計の設置

現在設置している田名部川(鹿橋水位観測所)以外の2級河川等に対し、各1箇所危機管理型水位計を設置した。(県実施)

#### 設置箇所

老部川→老部橋

目名川→目名橋

野牛川→水上橋(釜石沢川)

青平川→駒形橋



### 【令和元年度の主な実施内容】

#### ○避難勧告・指示等のタイミングに関するルール作り・検討

県と共同で作成した水害対応タイムラインをもとに、引き続き浸水想定区域内の住民に対する避難基準を再検討し、関係者と共有を図るとともに、区域住民へも周知していく。  
併せて、避難訓練実施も検討していく。

#### ○重要水防箇所や水防資機材等について、合同巡視を実施

重要水防箇所等について、水防団(消防団)や地元住民による巡視も検討していく。

#### ○消防団員の確保

災害時活動する消防(水防)団員の確保に努め、防災対応力の強化を図る。



# 風間浦村 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：目滝川、易国間川】

## 【平成30年度の主な実施内容】

### ○平成30年度防災避難訓練における水防訓練の実施

・平成30年10月28日(日)に開催した防災避難訓練において、消防団員によるシート張り工法(写真左)及び土のう積工法(写真右)等の水防訓練を実施した。

なお、訓練には陸上自衛隊も参加している。



### ○土のう配備状況について

・第2級河川である易国間川に近い消防倉庫に、新たに約1,100枚の土のう袋を備蓄し、氾濫発生時、速やかに土のうを活用した水害対策を講じれるよう配備しているかを確認した。

## 【令和元年度の主な実施内容】

### ○令和元年度防災避難訓練における水防訓練の実施

・風間浦村管内において実施予定の防災避難訓練で、シート張り工法及び土のう積工法等の水防訓練を実施する予定。

### ○水害対策タイムラインの策定等

- ・水害対策タイムラインの策定、避難勧告等発令の対象区域及び判断基準等の確認を行う。
- ・水害対策タイムラインを活用した避難訓練を実施し関係機関及び住民で緊急時の対応を確認する。

### ○防災行政無線の保守管理

- ・村内各所に設置している防災行政無線のスピーカーが経年劣化により破損する可能性があるため定期的に巡回し、保守管理に努める。

### ○土のう配備状況について

・平成30年度に確認した土のう配備状況について、今年度においても有事の際に速やかに使用可能な状況となっているか確認を行う。

# 佐井村 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：古佐井川、大佐井川、福浦川、大利家戸川、川内川】

## 【平成30年度の主な実施内容】

### ○防災行政無線の改良等、 情報伝達手段の整備



- ・防災行政無線機器のデジタル化を図るため、基本設計に着手

### ○防災訓練

- ・大雨による土砂災害を防御するため、土のうを活用した訓練を実施



### ○村広報誌で消防団員（水防団員）募集の 記事を掲載（毎年継続）

- ・29年度 181名⇒30年度 185名（4名増）

## 【令和元年度の主な実施内容】

### ○前回作成から期間が経過している職員用 災害初動対応マニュアルの更新

### ○防災行政無線の改良等、情報伝達手段の 整備

- ・防災行政無線機器のデジタル化を図るため、実施設計に着手

### ○自主防災組織研修会の開催

- ・村内自主防災組織の育成強化を図ることを目的に、県の協力を受けて開催（6月下旬）

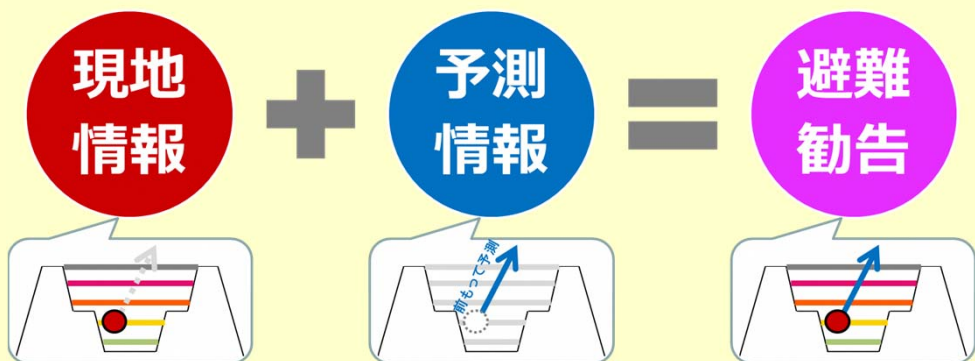
### ○村広報誌で消防団員（水防団員）募集の 記事を掲載（毎年継続）

# 青森地方気象台 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成30年度の主な実施内容】

平成29年度から開始した危険度分布情報を、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発を実施。

市町村長の避難勧告  
住民の主体的避難



色が持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒(警報級) 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意(注意報級) 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

## 【令和元年度の主な取組み予定】

地域防災支援を強化します。

平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います。

### 平時

- 市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力  
⇒ 訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

### 緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン  
⇒ 利用者の立場に立った、情報提供
- JETTの派遣  
⇒ 気象台職員を迅速に派遣



# 青森県防災危機管理課 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成30年度の主な実施内容】

### ○防災教育や防災知識の普及

- ・「青森県防災ハンドブック」の全世帯（約56万）配布による防災意識の普及啓発



- ・防災全般に関する出前講座を計12回開催（357人聴講）



- ・自主防災組織未結成の町内会役員を対象とした体験研修会を計12回開催（496人聴講）
- ・防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図るため、平川市において青森県総合防災訓練を実施（参加者約3,500人）

## 【令和元年度の主な取組の予定】

### ○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に応じて対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツールの検討を行うとともに、教育関係者やPTA等地域住民を対象とした啓発活動を実施
- ・昨年度に引き続き、出前講座や自主防災体験研修会を開催
- ・青森県総合防災訓練は8月27日に三沢市で開催

### ○市町村が実施する訓練の支援等

- ・7月26日に深浦町で河川の氾濫や土砂災害を想定した深浦町災害対策本部図上訓練を実施予定

### ○市町村に対する避難対策等への助言・指導

- ・避難勧告等の発令基準作成や避難対策等への助言・指導
- ・情報伝達手段の強化などの避難対策について市町村担当課長会議や地域懇談会において、助言・指導を行う



# 青森県河川砂防課 平成30年度主な実施内容

## 【平成30年度の主な実施内容】

### ○危機管理型水位計等の設置【完了】

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、危機管理型水位計を県管理河川82河川82箇所に設置  
うち、むつ圏域は大荒川・宿野部川(むつ市)、大佐井川(佐井村)等、17河川17箇所に設置

水位計設置箇所

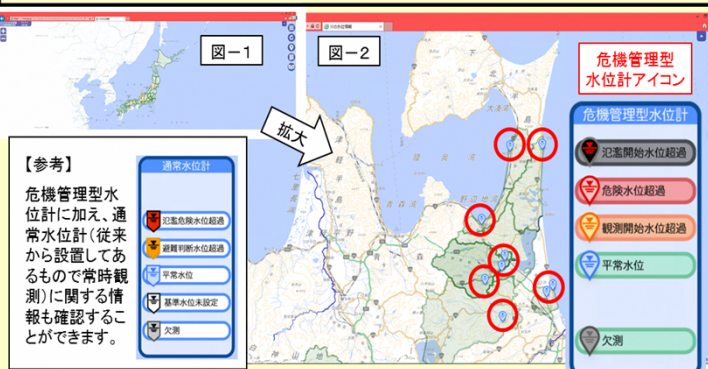


<危機管理型水位計設置河川>

市町村	設置河川
むつ市	田名部川、大荒川、今泉川、出戸川、戸沢川、桧川、宿野部川、男川
東通村	青平川、目名川、老部川、石釜沢川
風間浦村	易国間川、目滝川
大間町	小川代川、材木川
佐井村	大佐井川

### 危機管理型水位計による観測水位の閲覧方法

① インターネットで「川の水位情報」のページを開くと、図-1の画面が表示され、ご覧になりたい危機管理型水位計のある地域を拡大していくと、危機管理型水位計のアイコンが表示されます(図-2)。



危機管理型水位計



### ○避難勧告の発令に着目した洪水タイムラインを策定【完了】

- ・避難勧告の発令に着目した洪水タイムラインを県管理河川35河川に策定完了うち、むつ圏域は4河川に策定

河川種類	河川名(むつ圏域)
水位周知	田名部川、小川、大畑川、脇野沢川

### ○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成・公表【継続】

- ・田名部川・小川(むつ市)において浸水想定区域図を公表
- ・大畑川(むつ市)において検討を実施

浸水想定区域図



田名部川・小川

### ○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体(市町村)及び河川管理者(県)等による河川の合同巡視を継続実施
- ・平成30年度は大佐井川・古佐井川(佐井村)、奥戸川・小川代川・材木川(大間町)において実施

合同巡視実施状況



材木川 (H30. 5. 30撮影)

### ○緊急排水計画の策定【着手】

- ・氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定に着手

国土交通省ポンプ車



### ○ホットラインの運用【継続】

- ・河川管理者(県)から市長村長へ直接、河川水位の状況等を的確かつ確実に提供する体制を構築(H28. 12月構築、H29~運用)
- ・平成30年度の県内におけるホットライン実績は4河川6回

# 青森県河川砂防課 今後の取組予定

## 【令和元年度の主な実施内容】

### ○簡易型河川監視用カメラの設置【着手】

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、簡易型河川監視用カメラを県管理河川65箇所に設置  
うち、むつ圏域は小川(むつ市)、易国間川(風間浦村)、福浦川(佐井村)等の9河川10箇所に設置予定

河川監視カメラ設置箇所



(参考)イメージ  
簡易型河川監視用カメラ



<R1簡易型河川監視用カメラ設置予定河川>

水系	河川	設置数	市町村	水系	河川	設置数	市町村
大畑川	大畑川	1基	むつ市	易国間川	易国間川	1基	風間浦村
脇野沢川	脇野沢川	1基	むつ市	目滝川	目滝川	1基	風間浦村
田名部川	田名部川	1基	むつ市	福浦川	福浦川	1基	佐井村
	小川	2基	むつ市	大佐井川	大佐井川	1基	佐井村
野牛川	石釜沢川	1基	東通村				

### ○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成・公表【継続】

- ・大畑川(むつ市)において浸水想定区域図を公表
- ・脇野沢川(むつ市)において検討に着手(令和2年度中の公表予定)

### ○緊急排水計画の策定【継続】

- ・今年度は、民間ポンプ保有状況を踏まえ、災害時協定に基づくポンプ等排水機材の緊急配備を検討予定



### ○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・今年度は新田名部川・小川(むつ市)、田名部川・青平川(むつ市・東通村)を対象に実施予定

### ○防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策【着手】

- ・田名部川・大畑川流域において河道掘削・河道伐木を実施

### ○治水ハード対策の推進【継続】

- ・田名部川施設機能向上事業(むつ市)を継続実施
- ・奥戸川総合流域防災事業(大間町)を継続実施
- ・大荒川火山砂防事業(むつ市)を継続実施